



学校法人
鎌倉女子大学

学術研究棟完成のお祝い

—竣工式 平成24年7月24日（火） に臨んで—

皆が心待ちにしておりました大船キャンパスの学術研究棟が完成いたしまして、本日滞りなく竣工式も執り行われました。この度、この研究棟の建設に当たりまして、周到なご準備を重ね、ご尽力くださいました清水建設の皆さま初め、ご努力いただきましたご関係の方々に感謝申し上げます。

顧みますと、平成23年6月20日に安全祈願祭が挙行され、神事も厳粛に執り行われ、その時には完成までに長く時間がかかるように思われましたが、お蔭様でこうして落成された姿を見て、竣工式に臨むことは、大変嬉しいことでございます。

平成15年の大船キャンパスの開設当時から比べますと、菩提樹の並木も東山の緑も、この10年近くにずいぶん育って、鬱蒼と大きくなりましたが、新しい研究棟は、キャンパスを開設した時からもうそこにあったように、周囲の建物や雰囲気とよく溶け合って、全く違和感をもたない見事な出来栄えとなっていたものですから、思わず「前から建っていたみたい」といって感激しておりましたら、設計してくださった清水建設の方が「そのお言葉が一番嬉しいです」といってくださいました。でも、私の心からの思いだったので。

この2階のラウンジは、向かいのカフェテリアにもつながり、テラスからは大船キャンパスを見渡せる素晴らしい景色が広がります。立木の間を階段を降りると、東山を左に眺めながら、新しくできた東山庭園の小道を歩いて教室棟に向かうこともできます。庭園を回遊する道も四方に広がりました。ただ今も、研究室や学術研究所の会議室を見せていただきましたが、ゆったりとした本当に素晴らしい設えで、夢のような心地がいたします。

この研究棟から岩瀬キャンパスも望めるわけですが、かつて岩瀬キャンパスにおりました時、あの頃の研究室は、現在の教室分くらいの広い部屋で、休憩時間や空き時間に先生方とお茶を飲みながら一緒に過ごし、先輩の先生から今でも記憶に残る貴重なお話を伺ったりしたことを、忘れることができません。

私たち音楽科の教員は、優遇されたのか、うるさかったからなのか、少し離れた部屋に移ることとなり、当時私たちは、コダーイ・ゾルターンが提唱した「コダーイ・メソッド」と称される音楽教育システムの理論に傾倒しておりました、羽仁説子先生の主催される研究会や合宿にも皆で参加し、その成果を授業に活かしたいと考えておりました。休み時間には輪になって、研究室でわらべ歌を歌ったり、踊ったり、心が一つになったとても楽しい印象的な時間で、50年を過ぎた今でも、私は、当時の夢を見てしまいます。本当に大学草創期といったとても懐かしい時代で、ああした時代は、あれでよかったのだと思いま

す。当時は、将来こうして一つ一つのお部屋ができるということなど、夢にも考えておりませんでした。時は流れて、教育環境も研究環境も整えられて、このような立派な研究室ができましたことを大変嬉しく思っております。

先生方も、かつての草創の時代のこともお忘れなく、どうぞこの研究棟を存分にご活用され、学生の皆さんに喜んでもらえるようなより一層の研究に精進していただけるものと心から期待しております。ただ、私が一つ気になっていることですが、研究棟から教室棟への移動にこれからは少々時間がかかるようですので、先生方にはどうぞ授業に遅れないように、時間いっぱい学生のために使っていただきたいと思います。少し憎まれ口も申しまして、学術研究棟完成に当たり、一言お祝いを述べさせていただきました。

(学園主 松本 紀子)

[>前のページへ戻る](#)